

# 肌と腸の健康対応素材 北海道 タモギセラミド®

## 肌と腸の現状

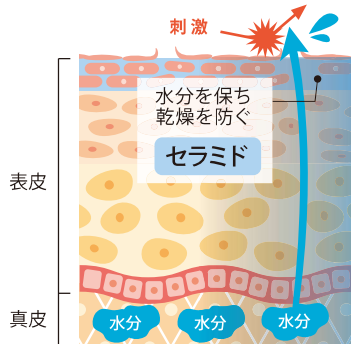
### 意外とデリケートな腸

腸には神経細胞が多くデリケートで、身体の健康を保つために重要な器官です。食生活や生活習慣の変化、ストレス、老化などで瞬く間に腸環境は乱れてしまい、腹痛や下痢など身体に様々な影響を及ぼします。腸環境が悪くなると、肌のコンディションも悪化してしまいます。



### セラミドのバリア機能

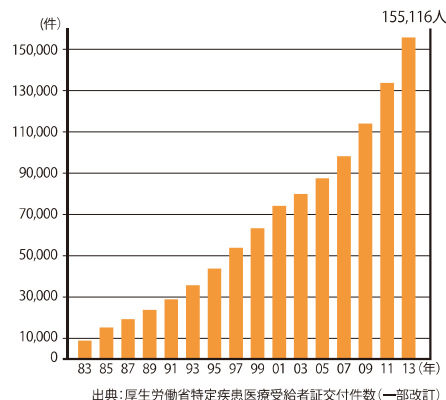
セラミドは、皮膚の一番外側の角質層において水分の蒸散を調節したり、外部刺激からのバリア機能に重要な役割を果たしています。肌のバリア機能が低下すると内部の水分維持ができにくくなり、乾燥してカサカサ肌になってしまいます。



### 腸の慢性炎症

腸は口から入ったものが集まる場所です。体の老廃物や毒素が増えると腸はそれらを異物や敵とみなし、腸管を守ろうとして炎症が引き起こされると考えられています。炎症性腸疾患のひとつである潰瘍性大腸炎も年々増加しています。

### 潰瘍性大腸炎の年度別患者数の推移



### 腸の健康チェック

- ☐ キノコや海藻類をあまり食べない
- ☐ 1日の飲み物の量が1L以下である
- ☐ 発酵食品を毎日とらない
- ☐ お腹を押すと硬い部分がある
- ☐ よく冷たい飲み物を飲む
- ☐ 週の運動時間が180分以下である
- ☐ 食べるのが早い
- ☐ 眠りが浅い

当てはまる数が多いほど、腸の健康度が低いと考えられます。 出典：自社資料より

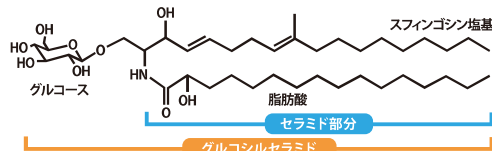
## 機能性素材とは

### 機能性素材「北海道 タモギセラミド®」

エル・エスコポーレーションオリジナル素材である「北海道 タモギセラミド®」はセラミドの肌の保湿サポートに加え、腸の抗炎症活性が報告され、腸管保護機能が期待されています。

#### タモギ茸由来グルコシルセラミド

タモギ茸にはセラミドを合成するために必要な材料であるグルコシルセラミドが含まれています。グルコシルセラミドとは、セラミドに糖が結合したスフィンゴ糖脂質の一種です。



#### タモギ茸とは

- 北海道産無農薬栽培
- 農林水産省品種登録  
タモギ茸を使用
- アレルギー表示不要
- 保湿効果で特許取得  
(第4383427号)

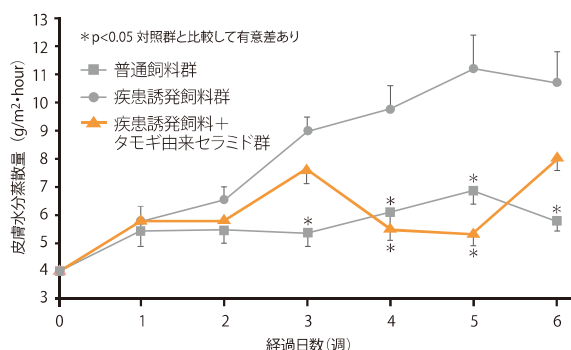


## 対応素材の可能性

#### 皮膚の乾燥抑制効果(マウス)

グルコシルセラミドとして185mg/kg/dayを42日間与え、皮膚水分蒸散量(TEWL)の推移を評価しました。

#### 皮膚バリア機能を促進



出典：自社資料より

## 対応素材の可能性

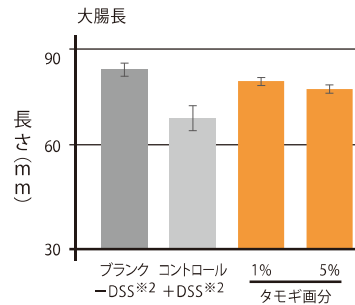
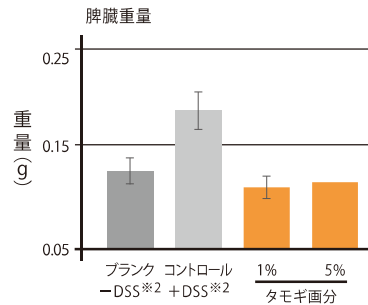
### DSS※2投与大腸炎症モデルマウスへの タモギ茸抽出画分投与の効果

#### [方法]



Bald/cマウス  
4週齢 雄  
室温22℃、湿度60%  
明暗周期12時間

タモギ茸のエタノール抽出画分を配合した飼料とDSS※1.5%濃度飲水を自由摂取させ、脾臓重量と大腸長を評価しました。

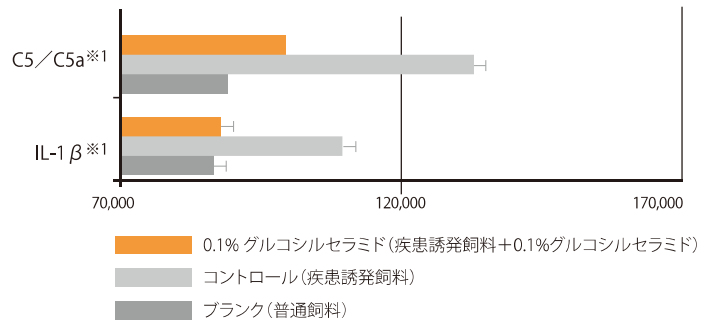


脾臓の重量は  
減少し、大腸の  
収縮も抑制され、  
炎症抑制を示唆!

### DSS※2投与大腸炎症 モデルマウスにおける 食餌性グルコシルセラミドの効果

#### 食餌性グルコシルセラミドは 炎症マーカーを抑制

(AraiらJ.Oleo Sci. (2015)より抜粋)



※1 C5/C5a、IL-1β：炎症のマーカー  
※2 DSS(デキストラン硫酸ナトリウム)：大腸炎を誘発する試薬

出典：帯広畜産大学との共同データより

#### 製品名

北海道 タモギセラミド®

#### 製造工程



#### 起源原料

タモギ茸

#### 原材料表示例

タモギタケ抽出物(セラミド含有)/シクロデキストリン

#### 荷姿

1kg

#### 最終加工地

日本

#### 賞味期限

810日(約2年3カ月)

#### 保存方法

直射日光を避け常温で保存

#### 規格

グルコシルセラミド1.5%以上